

福岡県北九州市若松区方言のアスペクト

住田 幾子

「I. はじめに」

- (1)調査対象地：福岡県北九州市若松区方言は、九州方言の中にあつては、筑前方言域に属している。筑前の最北端に位置し、豊前方言域の北九州市戸畑区に接している。筑前方言色はうすくなつてはいるが、やはり、その最果ての地でもある。
- (2)調査年月日：1993年12月20日～12月26日
- (3)話者：住田幾子 昭和23年8月12日生(45才)教師
住田フミヨ 大正3年3月9日生(79才)無職
- (4)調査方法・調査時の状況：この調査にあつては、まず調査者自身を被調査者とした。話者の深い内省が必要であつたことと、調査者本人が、はえぬきの土地っ子であつたことによる。調査は、調査者(話者)とその実母との会話、話し合いのかたちで行なつた。「日本方言アスペクト 調査要項」を幾度か見なおして、家庭内における自然な会話のものであるかどうかについて話し合い、おたがいが納得するに至つた用例を掲げている。
- (5)表記方法：調査時は、すべて文の単位で用例を取りあげ、その微妙なニュアンスを検討したが、調査の結果としてはアスペクト事象に関する部分のみを記述した。

「II. 調査結果」

1. (昔は)よく行ったものだね ○イキヨツタ
2. (あのころは)おもしろかつたなあ ○オモシロカツタ
3. (もうちょっとで)落ちるところだつた ①オチヨツタ ②オチルトコヤツタ
4. (今にも)落ちそうだよ ①オチヨル ②オチカカトル ③オチル ④オチルオチル
5. (財布を)落として ①オトシテシモーテ ②オトシテ
6. 困っている ○コマツトル
7. (一本の蠟燭が今にも)消えそうだよ ①キエヨル ②キエカケタ ③キエソーナ ④キエル
8. (今)消えようとする ①キエヨル ②キエテシマイヨル ③キエテシマウ ④キエルキエル
9. (完全に)消えた ①キエテシモータ ②キエタ
10. (すでに)消えていたよ ○キエトツタ
11. (何本もの蠟燭が順に)消え始めた ○キエダシタ
12. (何本もの蠟燭が次々)消えていくなあ ①キエヨル ②キエテイキヨル
13. (何本もの蠟燭が順に)消えているよ ①キエヨル ②キエテイキヨル
14. (何本もの蠟燭が全部)消えているよ ①キエトル ②キエテシモートル

15. (何本もの蠟燭の火を次々) 消しているよ ①ケシヨル ②ケシテイキヨル
16. (もう全部) 消しているか ○ケシトルカ
17. (今にも桜が) 散りそうだ ①チル ②チリソーナ
18. (ちらほらと) 散り始めた ①チリカケタ ②チリダシタ
19. (今現に) 散っている ①チリヨル ②チリヨルチリヨル
20. (桜の木がすっかり) 散っている ①チットル ②チツテシモートル
21. (地面一面に) 散っている ○チットル
22. 今にも降りそうだ ①フル ②フリソーナ ③フルゴトアル ④フローゴトアル
23. (あの時は今にも雨が) 降りそうだったなあ ①フリソーヤッタ ②フローゴトア
ッタ
24. (あの時はもう実際に雨が) 降っていたよ ○フリオッタ
25. (あの時はやがて夜が) 明けようとしていたよ ①アケヨッタ ②アケカカットッ
タ
26. (来年の今ごろは家を) たてている (最中) ①タテヨル ②タテヨロー ③タテ
ヨルヤロー
27. (来年の今ごろは家をすでに) 建てている ①タテトル ②タテトロー ③タテト
ルヤロー
28. (あの家はよく) 磨いてある ○ミガイトル
29. (隣の犬が) 鳴いている ○ナキヨル
30. (隣の子が) 泣いている ○ナキヨル
31. (こどもたちが) 喧嘩している ○ケンカシヨル
32. (家に) いるかなあ ○オル カナー。
33. (〇〇さん) いるか ○オル?
34. (ああ) いるよ ○オル ヨ。
35. (そういう人も) いるよ ○オル ヨ。
36. (あなたは今何を) していたか ○シヨッタ
37. (私は今金魚を) 見ていたよ ○ミヨッタ
38. (金魚が今にも) 死にそうだ ①シニヨル ②シニソーナ ③シニカカトル ④
シニカケトル ⑤シニカカッテシモートル ⑥シニカケテシモートル
39. (やっぱり金魚は) 死んでいたよ ①シンドッタ ②シンデシモートッタ
40. 読み始めていた ①ヨミカケヨッタ ②ヨミカケヨッタトコ
41. 読み始めたところへ (～た) ○ヨミカケタトコ
42. 着くと同時に～した ①ツイタトオモータラ ②ツイタトタンニ ③ツクカツカン
カニ
43. 着くと同時に～してくれ ①ツイタラスグ ②ツキシダイ

44. 鳴りつづけている ①ナリッパナシ ②ナリドーシ
45. (先生は今何を) しているか ①シテアリマス ②シヨツテデス ③サレヨツテデス
46. 好きだ ○スイトル
47. 見られているのも ①ミラレヨルンモ ②ミラレトルンモ
48. (今、運動会が) ある ○アリヨル
49. (降らなくて) よかったよ ○ヨカッタ
50. (先生がこっちへ) 来つつある ①キテアル ②キヨツテ ③コラレヨツテ ④ミエヨツテ ⑤オイデヨツテ
51. (犬がこっちへ) 来つつある ①キヨル ②クル
52. 似ている ○ニトル
53. (一週間も前から遊びに) 来ている ○キトル
54. (昔から) 苦勞していない ○クローシトラン
55. (今はあまり) 苦勞しないでいる ○クローシヨラン
56. ~は売っているが、~は売っていない ○ウリヨルケド、ウリヨラン
57. (昔からタバコを) 売っている ○ウリヨル
58. (今、大売り出しで衣料品を) 売っている ○ウリヨル
59. (もう三回) 来ている ○キトル
60. (いつも) 来ている ○キヨル
61. (昔はいつも) 来ていた ○キヨッタ
62. (前に一度) 行っている ○イットル
63. 先に行っておいてほしい ○イットツテ
64. 待っていないさい ○マツトキ
65. (外に) 待たせてあるよ ○マタセトル
66. 食べておいておくれ ○タベトツテ
67. (昔と) 違っている ○チゴートル
68. (昔は今のと) 違っていた ○チゴートツタ
69. (毎日梅干しを) 食べている ○タベヨル
70. (毎朝) している ○シヨル
71. 気をつけていて (~した) ○キヨツケヨツテ
72. 行ったまま~ ①イッタキリ ②イッタマンマ
73. ~しながら ①シーシー ②シナガラ
74. ~の途中で~する ○イキガケニ
75. ~の途中で~した ○イキヨツテ
76. ~の途中で止めて~した ○ヨミカケテ

77. ～したばかりだ ○ヨ^ンダバ^ッカ^リ
78. 無くなっている ○ノ^ーナ^ットル
79. 無くなるぞ ①ノ^ーナル ②ノ^ーナ^ッテシ^マウ
80. 掛けておいた帽子 ○カ^ケト^ッタ
81. 並んだ本 ○ナ^ラン^ドル
82. 並べた本 ○ナ^ラベ^トル
83. ～しておこうか ○ヨ^ンド^コー
84. やってあるか ○シ^トル
85. 壊している ○コ^ワシ^ヨル
86. 壊れている ○コ^ワレ^トル
87. 壊されている ○コ^ワサ^レト^ル
88. のけてある ○ド^ケト^ル
89. 書き終わった ○カ^キア^ゲタ
90. 書いてしまいなさい ○カ^イテ^シマ^イ
91. 書いてしまう ○カ^イテ^シマ^ウ
92. 書いてみた ○カ^イテ^ミタ
93. (孫は今)入院している ○ニ^ュー^イン^シト^ル
94. (弟も今)入院しているそうだ ○ニ^ュー^イン^シト^ルソ^ーナ
95. (きっと)よくなるよ ○ヨ^ーナル
96. (だんだん)よくなるよ ○ヨ^ーナ^ッテ^イク
97. 歳とるとね、 ○ト^ッテ^キタ^ラ
98. なおらなくなるよ ○ナ^オラ^ンゴ^トナ^ッテ^クル
99. (1) (犬が)怪我したので ○ケ^ガシ^タン^デ
 (2) (こどもが)怪我したので ○ケ^ガシ^タン^デ
 (3) (お父さんが)怪我したんで ○ケ^ガシ^タン^デ
100. (1)雨が降りつつある A今にも降りそうな
 (2)貯金が増えつつある A貯金が 少しずつ増えようとしている
 (3)貯金を増やしつつある B増やそうとして少し貯金をし始めた

「III. まとめ」

(1)共通語のアスペクトの表現と、当該方言のアスペクトの表現とを対照させてみると、つぎのとおりとなる。

①ている……………ヨル (進行)

(反復) (継続・常時) 語類<1・56・57・60>

(習慣) 語類<69・70>

②ている……………トル (結果の持続)

(状態) 調査項目<52・67・68>

(心境の継続) 調査項目<6・54>

(経験回想) 調査項目<59・62>

③てある……………トル (処置) 調査項目<28・65・84・88>

④ていらっしゃる……テアル (ヨル・トルの両者の上態) 調査項目<45・50>

(2)共通語の「いる」に対応する存在の動詞は、「オル」である。

(3)ヨル・トルには、つぎのと通りの活用がある。

ていぬ	打消	ヨラ (ン)	トラ (ン)
ているだう・ていよう	予想・意志	ヨロー	トロー
てます	連用(1)	ヨリ (ます)	トリ (ます)
ていて・ていた	連用(2)	ヨッ (て) (た)	トッ (て) (た)
ている	終止	ヨル	トル
ている	連体	ヨル	トル
ていば・ていたら	仮定	ヨリヤ・ヨラ・ヨッタラ	トリヤ・トラ・トッタラ
ていよ	命令	ヨリ	トリ

(4)共通語の「ておく」(処置)は、当方言では「トク」である。その「促し」の用法は「～トッテ(依頼)」「～トキ(命令)」となる。なお、このトキの用法の影響によるものか、「～ヨキ(進行の命令法)」も行なわれている。

(5)「ヨル・トル」と他のアスペクト的表現との連結した表現は、つぎのとおりである。

[始発]	カケル	カケヨル	カケテシマイヨル
		カケトル	カケテシモートル
	カカル	カカリヨル	カカッテシマイヨル
		カカトル	カカッテシモートル
	ダス	ダシヨル	ダシテシマイヨル
		ダシトル	ダシテシモートル
[完結]	アゲル	アゲヨル	アゲテシマイヨル
		アゲトル	アゲテシモートル
	アガル	アガリヨル	アガッテシマイヨル
		アガトル	アガッテシモートル
[変移]	ナル	ナリヨル	ナッテシマイヨル
		ナトル	ナッテシモートル
	ナッテイク	ナッテイキヨル	
	ナッテクル	ナッテキヨル	
[終結]	テシマウ		テシマイヨル
	(テシモ-タ・テシモ-テ)		テシモートル

(6)存在動詞「アル」の進行態は、「アリヨル」である。

(7)調査項目46「好きだ」は、「スイトル」である。当該方言の「好く」は、他に、

打消 ○コンナ テンキワ スカン ネ。こんな気は嫌だね。

終止 ○ナンデカ アノ ノラネコー スク ンヨ。なぜか、あの野良猫を好きになるのよ。

などの用法がある。

(8)上記の他、幾つかの調査項目について、文例を掲げて、表現の差異を検討する。

11. 「～ダス」と「～カケル」

○蠟燭が消えだした。桜が散りだした。…全体の中で、次々に～始めるの意。

○蠟燭が消えかけた。桜が散りかけた。…その一つについて、～始めるの意。

44. 「～バナシ」と「～ドーシ」

○デンワガ ナリッバナシ。電話がなり続けている、……継続的進行

○ヒルカラ デンワガ ナリドーシ。昼から(何回も)電話がかかってくる、……断続的反復

77. 「～バツカリ」と「～トコ」

○モー イクトコ。もう行くところ。(将現)

○イマ アイヨルトコ。今、会ているところ。(進行)

○イマ カイッタトコ。今、帰ったところ。(完了直後)

○モー イクバツカリデ トリヤメタ。まったく、行くという直前にとりやめた。(将現)

○ソレ キノ ヨンダバツカリ。それは昨日読んだばかり。(完了直後)

「～バツカリ」は、「読む・行く」などに限定して注目した表現であり、「～トコ」は、時間軸上の状態を表現している。

72. 「たマンマ」と「たキリ」

○オイタマンマ デトル。買ったまま(の状態で)出かけている。

○イツタキリ モドッテ コン。行ったまりで、戻ってこない。(戻ることはない。)

43. 「～タトオモータラ」と「～タラスグニ」と「～カ～ンカニ」

○ツイタトオモータラ デンワガ カカッテキタ。着いた(のとはほぼ同時に)電話がかかってきた。

○ツイタラスグニ レンラクシテ ネ。着いたら(とにかく早いうちに)連絡してね。

○ピョーイン ツクカツカンカニ シンデシモータ 病院に着く(同時に)死んでしまった。

73. 「～ガテラ」と「V反復」

○ピョーイン イキガテラ ハナミショー。病院に行く(ほうが主だが)ついでに花見をしよう。

○ハナシシーシー ハシリヨル 話をしながら(同時に)まっている。

参考文献

木部暢子 「アスペクト研究方法試論」(『文献探求 第13号』1983 文献探求の会)

(すみだいくこ 梅光女学院大学)